

第1回 宝塚市都市計画マスタープラン 見直し等のための小委員会

開催日:令和元年(2019年)10月31日
時間:18:00~20:00
場所:宝塚市役所 2階 2-3 会議室

1 次 第

- (1) 開会
- (2) 議事

2 議 事

- (1) 委員長選出
- (2) 宝塚市都市計画マスタープラン見直し等のためのスケジュール(案)について
- (3) 都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定の基本方針(案)について

3 出席者

- (1) 出席委員 5名
- (2) 欠席委員 2名

4 審議事項

- (1) 委員長選出
委員長、委員長代理を選出しました。
- (2) 宝塚市都市計画マスタープラン見直し等のためのスケジュール(案)について
事務局より、宝塚市都市計画マスタープラン見直し等のためのスケジュール(案)として、全体スケジュール、小委員会のスケジュールを説明したところ、委員からの意見はありませんでした。
- (3) 都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定の基本方針(案)について
事務局より、都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定の基本方針(案)として、都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定の背景、社会潮流・都市計画の潮流、現況データ、都市計画マスタープランの進捗状況調査、市民意向、宝塚市の都市づくりの主要課題、めざす将来像、都市づくりのコンセプト、都市づくりの方向、都市整備方針の視点、立地適正化計画の誘導方針を説明したところ、委員からの意見は以下のとおりでした。(○:委員の意見 →:事務局の回答)

<社会潮流・都市計画の潮流>

- 今後、全国的に都市のスポンジ化現象が発生するが、市としての都市のスポンジ化現象の捉え方を整理しているか。
- 都市農業や都市農地の視点は、全国的に都市緑地法等の改正があり都市農地の位置付けが変わっている。また、市において花き植木産業が主要な地場産業であり全国的な視点が必要である。

<現況データ>

- どの地区から高齢化の問題が始まるかについて、将来の人口密度の高齢化率の予測分布を住宅開発した単位などで分析してみてもどうか。

- 昼夜間人口比率は、目標設定するには扱いづらく、難しいデータである。
- 徒歩圏域を 800 メートルとして分析しているが、高齢者や傾斜地を考慮する必要はないか。
- 公共施設を削減するとの記載があるが、削減についての基準はあるか。
→宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針に基準があります。
- 浸水想定区域について、状況の説明を分かりやすく記載してほしい。
- 移動手段の把握として、公共交通だけでなく歩行者や自転車の利用割合に関するデータも必要ではないか。パーソントリップの調査データも参考にできる。
→アンケートの質問項目にあります。

<都市計画マスタープランの進捗状況調査>

- 今後の課題について、「民有護岸の雨水整備」と「治水安全度の見直し」については、都市施設部門より都市防災部門に記載した方が良いのではないか。

<市民意向>

- 資料にはないが、アンケートの中で地域の人々の意見や要望を聞いているか。
→アンケートの自由意見欄で聞いております。
- アンケートの結果を、年代別と地域別で整理しているが、詳細にアンケート結果を分析するために、地域別で3世代ぐらいに分割するなど、細かく分けて集計してほしい。
- 市民の行き先として、「その他以外の市内」という項目があるが、具体的にどこか示してほしい。

<その他>

- 少子化対策として、子育てする人たちの働き場の確保、子どもを育てる基盤の強化を前面に出してはどうか。
- 子育てする人たちは、防犯対策などの治安が良いことを重視している。宝塚市は治安が良いイメージがあり、子育てしやすいまちとしてのポテンシャルを活かしてほしい。
- 高度医療を担う病院のように、高次都市機能の広域的な分担を考え、うまく補完し合うなど隣接市も視野に入れながら、将来像を考えるべき。
- 基本方針（案）では各項目が並列に記載されているので、何が重要か捉えにくい。
- 基本方針（案）で「マネジメント」や「市民参画」の記載があるが、これらは都市計画いわゆる「プランニング」ではないことに留意し、「マネジメント」と「プランニング」を仕分けしたほうが、小委員会では議論しやすい。

【事務局】

宝塚市 都市整備部 都市整備室 都市計画課